2026年第5回KSBLルーキーリーグ大会　大会規定

【目的】

この大会は、新3年生以下の球児達が、多くの仲間と交流を持ち、勝負にこだわらず、大人と球児が野球を楽しむことを目的とする。

【注】原則3年生以下で行う。（但し、対戦相手チームの了承あれば4年生の出場も可能とする）

【規定】

① この大会は「公認野球規則」及び「全日本軟式野球連盟競技者必携・学童野球に関する事項」及び当大会規則と細則により行う。

② 選手の集合は試合開始予定時間45分前とし、先行後攻のトスを行う。
ベンチは若番が1塁側とする。ただし本部の指示が優先する。ベンチに入れる指導者はスコアラーを含めて5人までとする。給水補助（女性）を2名以内認める。
尚、給水補助員はベンチ内で選手へのアドバイスや声援を控えなければならない。
投球練習は初回及び交代時は5球以内、その他は3球以内とする。
シートノックは4分とする。（天候等の状況によって行わない場合がある）
監督に一切、抗議権はない。ただしプレーの確認はできる。
ホームランラインは原則として60メートル以上とする。会場によっては本部の指示に従うこと。
大会会場には責任者を必ず配置すること。

③ 審判は相互審判を原則とする。服装は連盟の審判服を着用すること。

④ 雨天中止の決定は午前7時30分とする。各チームは大会本部に確認すること。

⑤ 試合球は出来る限り本部で用意するが、準備が出来ていない場合は本部の指示で試合チームから試合球の提供を求める事があるので用意すること。

⑥ グラウンドで発生した負傷は、主催者では一切その責任は持たない。
各チームで責任を持って対応して下さい。

⑦ ボークは、適用しないが攻撃側が不利益を被ったと審判員が、判断した場合はノーカウントとして走者を戻し監督と走者に指導する。

⑧ 夏季期間は給水タイムを適切なイニング間で設けること。タイマーは停止される。

⑨ バットは、連盟公認（JSBB）のみ使用できる。（木製も可能とする）但し、バットの使用にはチームで十分に安全性を確認した上で使用すること。
少年用ハイコン（複合）バットの使用には差し支えない。
但し、一般用ハイコン（複合）バットは使用は出来ない。

【細則】

(a) 試合は、60分、5回戦とする。5回終了時、同点の場合は引き分けとする。

(b) 4回終了で試合成立とする。(e)参照

(c) 塁間は21メートル、バッテリー間は14メートルとする。

(d) 1イニング5点を取れば攻守交代をする。得点コールドゲームはなし。
（例）攻撃側が3点を取り、その後3ランホームランが出て6点となったとしても、スコアは5点として記録し、審判員はプレイが落ち着いてからボールデッドとして攻守交替をする。

(e) 降雨、日没等、審判団協議により試合続行不可能となった場合は、4回終了時後であれば試合は成立する。

(f) メンバー交代は自由として、再出場も可能とする。
（但し投手のみ1打者の打撃が完了するまでは交代出来ない）

(g) 当日9名が揃わない場合でも、対戦相手チームの選手からの補充も可能とする。

(h) 9名以上の打撃も可能とする。（ベンチ入り全ての選手が打席に入ることが出来る）
打順についてはチームにて管理して間違わないようにする。もし、間違った場合はペナルティーはなく、気が付いた時点でカウントを引き継ぎ正規の打者に戻す。

(i) 体操服やトレーニングウエアも可能とするがショートパンツの着用は出来ない。
背番号と帽子（チーム帽子の着用が望ましいが、その他の帽子でも構わない）は着用する。
背番号が用意出来ない場合は相手チームの了承があれば試合に出場しても構わない。

(j) メンバー表は必要とする。（自チーム分のみで本部、対戦チームに渡す必要はないが、先行後攻のトスを行う時に本部、対戦チームに見せてお互いに人数、学年の確認をとる）

(k) 試合本部は得点、試合時間、イニングについて管理を行う。

(l) 勝敗は連盟として記録はしないが、試合消化の記録は実行委員会にて行いHPにアップする。

(m) 大会規定や試合運営等について改正すべき点が見つかった場合は、開催中であったとしても執行部が大会規定の変更を行う場合がある。

メンバー表

年　月　日　　球場

チーム名		監督	
大会名	KSBLルーキーリーグ大会	主将	

打順	守備位置	選手名	背番号
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

必ずこのメンバー表を使う必要はありません。
チームで使いやすいものを使ってください。

開始時間：　時　分　　終了時間：　時　分